



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	24,489	△26.3	△9,143	—	△7,273	—	△17,866	—
2020年3月期	33,206	△35.3	△5,602	—	△5,583	—	△8,427	—

(注) 包括利益 2021年3月期 △17,053百万円(—%) 2020年3月期 △8,985百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△517.71	—	△18.1	△6.0	△37.3
2020年3月期	△239.68	—	△7.4	△4.0	△16.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	110,140	90,036	81.7	2,607.72
2020年3月期	130,695	107,950	82.6	3,126.86

(参考) 自己資本 2021年3月期 89,996百万円 2020年3月期 107,911百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	5,937	1,299	△3,776	25,582
2020年3月期	3,776	△3,085	△5,555	21,582

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00	1,227	—	1.1
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	690	—	0.7
2022年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		—	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	28.4	△3,500	—	△3,100	—	△3,100	—	△89.83
通期	28,000	14.3	△7,000	—	△6,300	—	△6,400	—	△185.45

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	35,800,000株	2020年3月期	35,800,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	1,288,541株	2020年3月期	1,288,926株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	34,511,628株	2020年3月期	35,162,078株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,340	△29.7	△6,997	—	△5,239	—	△14,648	—
2020年3月期	26,096	△33.7	△5,807	—	△5,775	—	△8,053	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	△424.45		—					
2020年3月期	△229.05		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	96,525	77,397	80.2	2,241.97
2020年3月期	113,863	92,614	81.3	2,682.88

(参考) 自己資本 2021年3月期 77,373百万円 2020年3月期 92,588百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,900	43.6	△2,700	—	△2,700	—	△78.23
通期	21,400	16.7	△5,300	—	△5,300	—	△153.57

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. その他	20
(1) 受注及び販売の状況	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済の動向は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けました。米国では財政支出拡大や金融緩和に支えられ景気は回復基調にありますが、欧州では感染拡大と行動制限から経済正常化の遅れが懸念されています。中国ではプラス成長を維持し景気の回復基調が鮮明になっております。わが国においては感染者数の動向に左右される形で景気停滞感が強く、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループが製品を供給するアパレル産業においては、感染症拡大の影響から需要環境の回復が見通せないことに加えて、環境意識の高まりを背景に商品の過剰生産や在庫数量を抑制する動きが継続し、設備投資は総じて低調なまま推移しました。

当社グループは、ユーザー業界の課題解決に向けて、マスカスタマイゼーション、オンデマンド生産を可能にするホールゲーム横編機、3Dデザインシステムを核に、デジタル技術を駆使した新しい生産の仕組みなどのトータルソリューション提案を強化すると同時にサステナブルなモノ作りのさらなる浸透を図りました。さらに世界中の糸を検索・閲覧・ダウンロードでき、バーチャルサンプルに活用することで商品企画の効率アップに貢献する世界初のウェブサービスである『y a r n b a n k』を開設し、また多様化する勤務形態に対応するデザインソフトウェアのサブスクリプションサービスである『A P E X F i z』の新サービスを開始するなど、ユーザーの投資意欲を喚起することに注力しましたが、売上高の回復には繋がらず、当連結会計年度の全体の売上高は244億89百万円（前期比26.3%減）となりました。利益面におきましては、売上高の大幅な減少に加えて、販売単価の下落や生産調整に伴い売上総利益率が悪化したことなどで、営業損失91億43百万円（前期は営業損失56億2百万円）、経常損失は72億73百万円（前期は経常損失55億83百万円）、また固定資産の減損損失、関係会社株式評価損などの特別損失の計上があり親会社株主に帰属する当期純損失は178億66百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失84億27百万円）といずれも大幅な損失となりました。

なお、前第1四半期より当社グループの連結決算においてSHIMA SEIKI U. S. A. INC.、SHIMA SEIKI EUROPE LTD. およびSHIMA SEIKI SPAIN, S. A. U. の3社について、連結決算日に仮決算を行う方法に変更したため、前期の経営成績には当該連結子会社の2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヵ月間の業績が反映されております。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(横編機事業)

当社のコア・ビジネスである横編機事業の状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界各地での店舗閉鎖や外出自粛により消費需要が低迷したことからアパレル産業の設備投資が総じて低調となったこと、また世界各地で工場の操業停止や営業活動の中断を余儀なくされ、コンピュータ横編機の売上高が落ち込みました。

アジア地域では、中国・香港市場においてOEM型生産から企画提案型・高付加価値商品の体制へと転換を図るとともに、人件費上昇と人手不足から省人化を進める動きは強く、ホールゲーム横編機の導入は拡大傾向にありますが、大手ニットメーカーの設備投資が慎重となり販売台数を伸ばすことはできませんでした。バングラデシュにおいては、第3四半期から第4四半期にかけて海外アパレルからの受注が増加し設備投資が回復傾向となりました。

先進国市場では、北米でホールゲーム横編機の販売台数は増加しましたが、欧州や国内市場においては、総じてコンピュータ横編機の販売台数は前期に比べて減少しました。

これらの結果、横編機事業の売上高は155億47百万円（前期比32.0%減）となりました。

(デザインシステム関連事業)

デザインシステム関連事業は、アパレルデザインシステム「SDS-ONE APEX4」での企画・デザインから配色検討、リアルなファブリックシミュレーション、そして製品の3Dバーチャルサンプリングの活用による画期的な生産・流通のビジネスモデル転換を提唱し、下半期には多様化する勤務形態にフィットするデザインソフトウェアのサブスクリプションサービスである『A P E X F i z』の新サービスを開始しましたが、コンピュータ横編機の販売不振に連動して売上高は減少しました。

また自動裁断機「P-CAM」についても、国内、海外市場ともにテキスタイル分野での需要の落ち込みにより販売が低調となりました。

これらによりデザインシステム関連事業の売上高は25億8百万円（前期比30.5%減）となりました。

(手袋靴下編機事業)

手袋靴下編機事業は、大手ユーザーの設備投資が順調となり、売上高は19億69百万円（前期比86.8%増）となりました。

(その他事業)

その他事業については、メンテナンス部品や紡毛糸の販売などで、売上高は44億63百万円（前期比21.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、受取手形及び売掛金、有形固定資産の減少などで、前期末に比べて205億55百万円減少し、1,101億40百万円となりました。負債合計は短期借入金の減少などで前期末に比べて26億40百万円減少し、201億4百万円となりました。純資産は利益剰余金の減少などで179億14百万円減少し、900億36百万円となりました。また、自己資本の額は前期末に比べて179億15百万円減少し899億96百万円となり、自己資本比率は前期末より0.9ポイント低下し81.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べて39億99百万円増加し、255億82百万円となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

税引前当期純損失の計上となりましたが、売上債権の減少やたな卸資産の減少などにより、当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは59億37百万円の資金の増加となりました。（前期は37億76百万円の資金の増加）

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資有価証券の売却による収入などにより、当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは12億99百万円の資金の増加となりました。（前期は30億85百万円の資金の減少）

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

短期借入金の返済や配当金の支払いなどにより、当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは37億76百万円の資金の減少となりました。（前期は55億55百万円の資金の減少）

(4) 今後の見通し

今後の世界経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症ワクチンの普及や各国の追加経済対策により、景気は緩やかに回復軌道に戻ることが期待されますが、米中対立の長期化や感染症再拡大による経済活動の抑制やワクチンの普及の遅れなどのリスクも想定され、先行きは引き続き不透明感が強い状況にあります。

当社の主力製品である次世代型の横編機であるホールガーメント機の需要は今後も順調に拡大する見込みでありませんが、従来型のコンピュータ横編機は当社の主要販売先となるアパレル産業において中期的な設備投資マインドの冷え込みが顕著に表れてきたことに加え、新型コロナウイルス感染症により各国ユーザーでの設備投資が低調となっており、競合環境も厳しさが増えています。

一方で、アパレル産業は、消費者のエンカナル消費やカスタム化などの行動変化、またデジタル化の急速な進展、サステナビリティ等の企業の社会的責任（CSR）増大など、変化する事業環境への対応が求められており、これまでのようなリードタイムの長い大量生産・大量消費を前提としたビジネスモデルから脱却し、市場ニーズに即した付加価値の高い製品を、必要なときに必要な量だけ生産し、短納期で消費者に届ける「あるべきビジネスモデル」の仕組みをいかに構築するかが問われています。

従来より、「トータルファッションシステム」として、新しいモノづくりの在り方を提案してきた当社グループは、こうした状況をビジネスチャンスと捉え、ユーザー業界の課題解決に向け、加速度的に変化する経営環境を踏まえて、意思決定の迅速化や経営の効率性の向上に向けた経営体制の見直しなど短期的戦略の実行と併せて、今年度から中期経営計画「Ever Onward 2023」を開始し、当社グループの企業価値の更なる向上に努めてまいります。詳細につきましては、本日公表しました「中期経営計画（2021～2023年度）Ever Onward 2023」をご参照ください。

中期経営計画の初年度である2022年3月期の連結業績予想につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の終息は見通せない中、アパレル産業における需要環境や設備投資の急速な回復は見込めず、当社を取り巻く事業環境の改善および本格的な受注の回復には時間を要する見込みであります。こうした事業環境に対応するため、『y a r n b a n k』の充実とデザインソフトウェアのサブスクリプションサービスである『A P E X F i z』の新サービスを拡充するなど、ホールガーメント横編機、3DデザインシステムSDS-ONE A P E X 4を中心としたトータルファッションシステムの更なる提案を行い、サプライチェーン全体の改革を目指します。このような業績改善に向けた取組みとあわせて積極的な研究開発や設備投資を行うとともにグループ内においては徹底したコストダウンや経費削減に注力し収益力の向上に努めてまいります。

これらの諸施策の実行により、売上高280億円（前期比14.3%増）、営業損失70億円（前期は営業損失91億43百万円）、経常損失63億円（前期は経常損失72億73百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失64億円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失178億66百万円）を計画いたしました。なお、業績計画の前提となる為替レートは、米ドルは105円、ユーロは125円を使用しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社では、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付けており、事業の持続的な発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としております。そのうえで、長期的視点に立った成長投資および今後の事業展開に備えた内部留保にもバランス良く配分を行う方針であります。

また、株主還元指針としては、本日公表いたしました中期経営計画「Ever Onward 2023」に基づき、業績の黒字化を実現し、連結配当性向は30%を目安とする株主配当を実施するとともに、株価水準や資金の状況、市場環境などを総合的に勘案し、時機に応じて柔軟に自己株式の取得を行うなど、資本効率の向上にも努めるものとしております。

このような方針のもと、当期の期末配当金につきましては、厳しい事業業績ではありますが安定配当も勘案し、2020年10月29日発表の期末配当予想のとおり、1株につき10円とする議案を株主総会にお諮りすることといたします。これにより、すでに実施いたしました中間配当金10円とあわせて、年間では1株につき20円となり、前期に比べ15円の減配となります。

次期の配当につきましては、業績予想に鑑み中間配当金として1株につき5円、期末配当金として1株につき5円とし、これにより年間配当金は1株につき10円とする予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,641	25,636
受取手形及び売掛金	51,248	44,823
商品及び製品	10,563	7,899
仕掛品	840	1,081
原材料及び貯蔵品	7,007	7,232
その他	1,266	953
貸倒引当金	△3,097	△4,816
流動資産合計	89,470	82,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,105	27,946
減価償却累計額	△20,272	△20,691
建物及び構築物(純額)	6,833	7,254
機械装置及び運搬具	6,912	5,621
減価償却累計額	△4,946	△5,195
機械装置及び運搬具(純額)	1,966	426
工具、器具及び備品	7,953	7,739
減価償却累計額	△6,869	△6,996
工具、器具及び備品(純額)	1,083	742
土地	12,158	6,473
リース資産	8,330	6,349
減価償却累計額	△4,779	△5,641
リース資産(純額)	3,551	707
建設仮勘定	1,371	438
有形固定資産合計	26,964	16,043
無形固定資産		
のれん	2,566	2,197
その他	365	105
無形固定資産合計	2,931	2,302
投資その他の資産		
投資有価証券	7,515	5,758
退職給付に係る資産	1,276	1,184
繰延税金資産	499	360
その他	4,004	3,128
貸倒引当金	△1,967	△1,448
投資その他の資産合計	11,328	8,983
固定資産合計	41,224	27,328
資産合計	130,695	110,140

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,112	2,393
電子記録債務	416	280
短期借入金	8,162	6,235
リース債務	951	943
未払法人税等	118	164
賞与引当金	1,196	982
債務保証損失引当金	293	230
その他	4,041	3,403
流動負債合計	17,292	14,633
固定負債		
長期末払金	974	967
リース債務	2,932	2,323
繰延税金負債	497	556
再評価に係る繰延税金負債	23	17
退職給付に係る負債	730	1,406
その他	293	198
固定負債合計	5,452	5,470
負債合計	22,744	20,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,423	23,424
利益剰余金	81,415	55,648
自己株式	△3,937	△3,935
株主資本合計	115,761	89,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306	606
土地再評価差額金	△7,003	33
為替換算調整勘定	△1,488	△324
退職給付に係る調整累計額	336	△316
その他の包括利益累計額合計	△7,849	△0
新株予約権	25	23
非支配株主持分	14	15
純資産合計	107,950	90,036
負債純資産合計	130,695	110,140

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	33,206	24,489
売上原価	21,577	18,527
売上総利益	11,629	5,961
販売費及び一般管理費	17,231	15,104
営業損失(△)	△5,602	△9,143
営業外収益		
受取利息	430	369
受取配当金	148	142
受取賃貸料	128	108
助成金収入	-	944
その他	525	537
営業外収益合計	1,233	2,103
営業外費用		
支払利息	199	46
固定資産賃貸費用	82	67
為替差損	812	57
貸倒引当金繰入額	42	30
その他	76	31
営業外費用合計	1,214	232
経常損失(△)	△5,583	△7,273
特別利益		
固定資産売却益	-	44
投資有価証券売却益	-	125
国庫補助金	-	10
特別利益合計	-	180
特別損失		
固定資産除売却損	-	32
投資有価証券売却損	37	-
投資有価証券評価損	891	60
関係会社株式評価損	29	202
減損損失	10	10,222
特別損失合計	969	10,518
税金等調整前当期純損失(△)	△6,552	△17,610
法人税、住民税及び事業税	393	112
法人税等調整額	1,480	142
法人税等合計	1,874	255
当期純損失(△)	△8,427	△17,865
非支配株主に帰属する当期純利益	0	1
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△8,427	△17,866

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△8,427	△17,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	242	300
為替換算調整勘定	△718	1,164
退職給付に係る調整額	△82	△652
その他の包括利益合計	△557	812
包括利益	△8,985	△17,053
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△8,985	△17,054
非支配株主に係る包括利益	0	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,859	25,867	91,440	△3,743	128,424
当期変動額					
剰余金の配当			△1,598		△1,598
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△8,427		△8,427
自己株式の取得				△2,638	△2,638
自己株式の処分					—
自己株式の消却		△2,443		2,443	—
土地再評価差額金の 取崩					—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,443	△10,025	△194	△12,663
当期末残高	14,859	23,423	81,415	△3,937	115,761

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	63	△7,003	△770	418	△7,292	19	14	121,166
当期変動額								
剰余金の配当								△1,598
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)								△8,427
自己株式の取得								△2,638
自己株式の処分								—
自己株式の消却								—
土地再評価差額金の 取崩								—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	242	—	△718	△82	△557	5	△0	△552
当期変動額合計	242	—	△718	△82	△557	5	△0	△13,216
当期末残高	306	△7,003	△1,488	336	△7,849	25	14	107,950

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,859	23,423	81,415	△3,937	115,761
当期変動額					
剰余金の配当			△862		△862
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△17,866		△17,866
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		2	2
自己株式の消却					—
土地再評価差額金の 取崩			△7,037		△7,037
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	△25,766	1	△25,764
当期末残高	14,859	23,424	55,648	△3,935	89,996

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	306	△7,003	△1,488	336	△7,849	25	14	107,950
当期変動額								
剰余金の配当								△862
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)								△17,866
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								2
自己株式の消却								—
土地再評価差額金の 取崩								△7,037
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	300	7,037	1,164	△652	7,849	△1	1	7,850
当期変動額合計	300	7,037	1,164	△652	7,849	△1	1	△17,914
当期末残高	606	33	△324	△316	△0	23	15	90,036

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△6,552	△17,610
減価償却費	2,453	2,343
のれん償却額	396	389
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	650	1,120
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△220	30
受取利息及び受取配当金	△579	△512
支払利息	199	46
為替差損益 (△は益)	△37	△31
有形固定資産除売却損益 (△は益)	-	△11
投資有価証券評価損益 (△は益)	891	60
投資有価証券売却損益 (△は益)	37	△125
関係会社株式評価損	29	202
減損損失	10	10,222
助成金収入	-	△944
売上債権の増減額 (△は増加)	5,936	7,764
たな卸資産の増減額 (△は増加)	456	2,565
その他流動資産の増減額 (△は増加)	380	35
仕入債務の増減額 (△は減少)	151	△311
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△550	△635
その他	△98	△190
小計	3,554	4,405
利息及び配当金の受取額	576	510
利息の支払額	△211	△42
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△143	121
助成金の受取額	-	942
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,776	5,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△88	△72
定期預金の払戻による収入	99	77
有形固定資産の取得による支出	△2,523	△1,133
有形固定資産の売却による収入	8	90
投資有価証券の取得による支出	△334	△205
投資有価証券の売却による収入	102	2,418
関係会社株式の取得による支出	-	△147
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△50	50
その他	△298	222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,085	1,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△525	△1,945
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△794	△967
自己株式の取得による支出	△2,638	△1
配当金の支払額	△1,597	△862
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,555	△3,776
現金及び現金同等物に係る換算差額	△401	538
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,266	3,999
現金及び現金同等物の期首残高	26,849	21,582
現金及び現金同等物の期末残高	21,582	25,582

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業本部を置き、取り扱う製品・サービスごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は製品・サービス別セグメントから構成されており、「横編機事業」、「デザインシステム関連事業」、「手袋靴下編機事業」の3つを報告セグメントとしております。

「横編機事業」は、コンピュータ横編機・セミジャカード横編機の製造販売をしております。

「デザインシステム関連事業」は、コンピュータデザインシステム・アパレルCAD/CAMシステム等の製造販売をしております。「手袋靴下編機事業」は、シームレス手袋・靴下編機の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,877	3,611	1,054	27,543	5,663	33,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,877	3,611	1,054	27,543	5,663	33,206
セグメント利益又は 損失(△)	348	307	△48	607	317	925
セグメント資産	87,903	5,894	2,028	95,825	9,810	105,635
その他の項目						
減価償却費	1,452	79	68	1,601	259	1,860
のれんの償却額	377	3	0	380	15	396
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,334	113	66	1,513	216	1,730

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,547	2,508	1,969	20,025	4,463	24,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,547	2,508	1,969	20,025	4,463	24,489
セグメント利益又は 損失(△)	△3,281	113	△242	△3,410	12	△3,398
セグメント資産	66,355	4,389	3,230	73,974	10,146	84,120
その他の項目						
減価償却費	1,340	57	165	1,563	256	1,819
のれんの償却額	371	3	0	374	15	389
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	583	31	74	689	135	824

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	27,543	20,025
「その他」の区分の売上高	5,663	4,463
連結財務諸表の売上高	33,206	24,489

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	607	△3,410
「その他」の区分の利益	317	12
全社費用(注)	△6,528	△5,745
連結財務諸表の営業損失(△)	△5,602	△9,143

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	95,825	73,974
「その他」の区分の資産	9,810	10,146
全社資産(注)	25,059	26,019
連結財務諸表の資産合計	130,695	110,140

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,601	1,563	259	256	592	524	2,453	2,343
のれんの償却額	380	374	15	15	—	—	396	389
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,513	689	216	135	2,071	517	3,801	1,341

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
7,003	6,281	2,535	16,180	1,204	33,206

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
5,609	5,153	961	11,432	1,331	24,489

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
減損損失	—	—	—	—	—	10	10

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
減損損失	6,566	1,048	978	8,593	1,581	47	10,222

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
当期末残高	2,445	20	1	2,466	99	—	2,566

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2 のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
当期末残高	2,093	17	1	2,111	85	—	2,197

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2 のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	3,126.86	2,607.72
1株当たり当期純損失(△)(円)	△239.68	△517.71
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益(円)	—	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。
2. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△8,427	△17,866
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△8,427	△17,866
普通株式の期中平均株式数(千株)	35,162	34,511
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 受注及び販売の状況

①受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同期 増減率	受注残高	前年同期 増減率
横編機	16,348	△27.9%	3,714	27.5%
デザインシステム関連	2,555	△28.3%	242	24.0%
手袋靴下編機	2,400	143.8%	533	420.3%
合計	21,303	△21.7%	4,489	39.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同期増減率
横編機	15,547	△32.0%
デザインシステム関連	2,508	△30.5%
手袋靴下編機	1,969	86.8%
その他	4,463	△21.2%
合計	24,489	△26.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。